

■ 基本理念

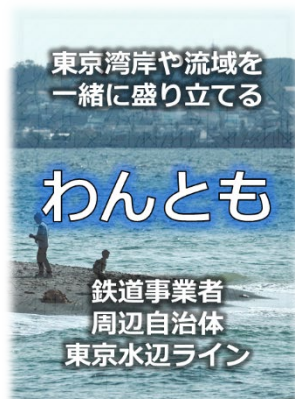
葛西臨海公園は災害時の大規模救出救助活動拠点及び避難場所、防潮堤としての役割を持ちながら、海と都市を隔てることなく、海、陸、人の賑わいが中断なくつながり、国内外から多くの観光客が訪れる首都圏屈指のレクリエーション拠点です。

私たちは「3(さん)とも」との強力な連携により、豊かな自然の保全・活用や、公園内外の賑わいの創出に取組み、いつ来ても癒しとワクワク感が楽しめる「アドベンチャーパークかさりん」を創っていきます。



【3(さん)とも】

私たちは公園を起点につながる仲間を、親しみと愛着をこめて「3とも」と呼び、より魅力的な公園・地域・自然と一緒に創り上げていきます。



※連携先は一例です。

■ 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

- **様々な関係者との連携強化により新たな魅力を生み出す公園**
 - ・江戸川区の各課や区営施設との連携事業により新たな賑わいを創出
 - ・パークマネジメント関係者連絡会の実施と公園・地域の魅力向上の取組
 - ・防災、花壇、自然保護等のボランティアとの協働
- **自然を守りはぐくみ、体感できる公園**
 - ・鳥類園の展示や子ども向けイベントの拡充による自然愛好家のすそ野拡大
 - ・学術機関やボランティアと連携した絶滅危惧種の保護と生息環境整備
 - ・流域と公園、海をつなぐイベントや清掃活動の実施
- **オリンピック・パラリンピックのおもてなしにふさわしい公園** (⇒裏面)
- **誰もが安心して過ごせる快適な公園**
 - ・年齢や障害の有無、言語に合わせて柔軟に対応するユニバーサルサービス

■ 質の高いサービスを提供するための具体的な取組



江戸川区や地域団体、ボランティアとの連携イベント

- ・サマーフェスティバル、秋の公園フェスティバル
- ・自然観察会 ・鳥類園の維持管理、希少種保全
- ・パークマネジメント関係者連絡会 など



河川流域や東京湾岸の団体・企業などと連携した取組

- ・SNSやアプリを活用したウォークラリー
- ・水仙まつり ・流域や東京湾岸の清掃活動
- ・野鳥や魚類の希少種保護のノウハウ共有 など



東京2020大会やSDGsを踏まえた取組

- ・カヌー・スラローム会場との連携 ・パークビュー
- ・和の文化を紹介する季節感あふれるイベント
- ・海洋ゴミをテーマにしたWebミーティング など



新たなテーマに挑戦する“かさりんラボ”

- ・パークマネジメント関係者連絡会で提案された新たなイベント
- ・新たに園内で観察された希少種の保護活動 など

■オリンピック・パラリンピック後を見据えた公園の魅力向上の取組

- 公園を訪れる海外からのお客様が十分な情報を得られるよう、園内マップの多言語化、自動翻訳サービスを活用した窓口対応を実施
- 大会期間中、おもてなし花壇、打ち水体験、和の風物詩展示等を実施
- サービスセンター職員に対し、車いすの取扱いやガイドヘルプ、多言語コミュニケーションの研修を行い、ユニバーサルサービスを提供

■オリンピック・パラリンピックの開催後までの着実な運営

- 円滑な運営をサポートするため、園内施設や交通機関と協議会を実施し、開催後はオリンピックレガシーを活用するために協議会を継続
- 海外からの来場者の安全確保のため多言語化した防災リーフレット等を活用
- おもてなし水準向上のため、ラストマイル周辺の重点的な維持管理

■施設の維持管理

① 防災関連施設

- 「防災施設管理運用マニュアル」に基づく維持管理等を的確に実施
- 発災時の運用を想定した定期点検や地域住民との連携訓練の実施

② その他の公園施設

- 安全・安心・快適性を常に追求する計画的な維持管理
 - ・ P D C A サイクルに基づく計画的な維持管理
 - ・ 効果的・効率的な「近隣共同作業」の実施
- 公園の魅力を高め、来園者の暮らしを豊かにする上質な維持管理
 - ・ 来園者に感嘆や癒しをもたらす美しい景観「パークビュー」の創出
 - ・ 生物多様性に配慮した維持管理と発生材や作業解説による路傍展示の充実
- 多様な主体との連携・協働による維持管理
 - ・ 生物多様性の保全、海洋プラスチックゴミの削減、花壇等の修景施設の管理等に関する維持管理作業をボランティアや企業・団体と協働で実施



■事故や災害、感染症等を未然に防ぐ安全対策と発生時の対応

● 事故や災害に備えた危機管理体制

- 新型コロナウイルス感染症やデング熱等を想定した公園運営マニュアルに基づき、来園者の安全・安心と公園管理業務の事業継続性を確保
- 事故や災害の発生に備えた本社・現場・協力業者による年中無休の危機管理



● 危険箇所や要因を早期に発見・対処する恒常的な取組

- ・ アメニティ巡回や繁忙期の重点警備による安全確保
- ・ 樹木医資格を持つ職員による樹木診断のほか、樹木点検員による定期的な点検、松枯れ防止対策等を実施
- ・ 電気設備の法定点検、遊具の定期点検と精密点検等を実施

● 気象災害に対する事前の備えと対応

- ・ 過去の台風被害を踏まえ、倒木等を防止するため計画的に剪定・伐採
- ・ ハザードマップを活用し、台風接近時等には巡回点検や側溝清掃等を実施
- ・ 民間気象会社との契約により気象情報を早期収集し活用
- ・ 気象災害発生時には、緊急配備体制の職員や特約店による迅速な応急処置と復旧作業を実施



■防災業務計画

● 大規模救出救助活動拠点確保の取組

- ・ 発災時に大規模救出救助活動拠点として円滑に機能するよう、これまでの訓練の成果や「東京都現地機動班活動要領」を踏まえ、「震災時対応マニュアル」を改定し訓練を実施
- ・ 具体的な連携体制や役割分担に係る都との協議の推進

● 避難場所等に係る取組

- ・ 避難場所の運営を担う江戸川区との連携を強化し、連携して無線連絡訓練や普及啓発活動を実施
- ・ 地震とコロナ禍等の複合災害を想定した避難場所運営訓練の実施

● 職員の防災力を高める取組

- ・ 防災訓練の定期的な実施と訓練結果を反映した震災対応マニュアルの更新
- ・ 防災士資格を持つ防災推進リーダーを2名以上配置

● 都民の防災力を高めるための取組

- ・ 水仙まつり等の大規模イベントにおいて防災スキル体験プログラムを実施
- ・ 災害時にも活用できるアウトドアスキルを自然観察会等を通じて普及啓発
- ・ S N S や W e b を活用したコンテンツ配信による普及啓発を実施

